



皆様、あけましておめでとうございます。まだまだ寒い毎日、「かぜ」ひいていませんか？

抗生剤はカゼに効く??

抗生剤のエピソード その①

院長が体験したお話です。数年前、検診のピロリ菌検査で陽性だったため、無症状でしたが抗生剤による除菌を試みました。しかしピロリ菌は陰性にならず、その後数年経過しました。ある時小児科の消化器専門の医師に相談しました。その時の一言「〇〇〇という抗生剤を過去に一度でも飲んだことがあると耐性が出来て除菌できないんですよ♥」

院長より…

抗生剤のエピソード その②

クリニックに通院してくださっているお子さん。お薬手帳をみると耳鼻科で抗生剤1週間処方ありました。

「中耳炎だったのですか？」

「中耳炎はないと言われました」

「では、なんと言われましたか？」

「かぜと言われました」

「抗生剤はなんでだしてもらいましたか？」

「鼻水が汚いと言ったらでました」

熱もなく診断が風邪なのに・・・。その抗生剤は、カルバペネム系といって最新かつ最強で、どんな菌でもやっつけてしまうんですよ♥



一般的にかぜというのは「ウイルス感染症」をさします。抗生剤は「細菌感染症」には効きますが、ウイルスには全く効果がありません。こどもの発熱のほとんどはウイルスによるものです。汚い鼻汁でも、必ずしも細菌が悪さをしているとは限りません。発熱して抗生剤を飲んだら治った体験があるかもしれませんが、自然経過でもみてもそろそろ熱が下がる頃だったということはよくあることです。抗生剤を飲むと、消化管から吸収され、血液を通して全身を巡ります。体の一部にだけ効かせたい場合でも、咽頭、皮膚、腸などの常在菌を壊してしまうのです。また、残った菌も、抗生剤に負けまいとだんだん耐性を持つようになり、効いてほしいときに効果がだせなくなってしまいます。私が医者になりたての20年前は、熱がでたら抗生剤を当たり前のように出していました。「発熱→抗生剤」が刷り込まれてしまったのは患者さんのせいではありません。その結果、現在は耐性菌問題で大変なことになっています。ドラッグストアで抗生剤が買えないのは、「発熱→抗生剤」ではない証拠です。かぜをひいたら・・・熱がでたら・・・鼻水が汚かったら・・・抗生剤！では、医者はいらぬのではないのでしょうか？細菌感染症が疑われるときは血液検査をおすすめします。細菌感染かウイルス感染かが大体わかります。抗生剤は必要な時に必要な日数をきっちり飲みましょう。

今月の絵本

きもと ももこ さく

うすらちゃんのかくれんぼ

うすらちゃんがひよこちゃんと仲良くかくれんぼをはじめました。「もういいかい」「まあだだよ」かくれている姿が微笑ましい心温まるお話です。



おしらせ

昨年末から胃腸炎やインフルエンザが流行しています。予防のための手洗い・うがい、かかってしまったら休養が最も大事ですよ。

今年も通院してくださる方々のお役にたてるようにスタッフ一同頑張ります！！どうぞよろしく願いいたします！！

次回もおたのしみに～

